

「社会科」 授業のデザイン

授業日時	平成28年 6月9日(木)	4校時	2年3組
授業者	武田 孝彦	授業場所	2年3組教室
単元・題材名 6, 外国船の出現と天保の改革(教科書P122~123)			
導入 享保の改革、田沼の政治、寛政の改革について簡単に復習する。			
課題1(基礎の課題) ● 資料集P88の、小判の金含有量の変化を示す。 『どの小判が一番価値があるか考えよう。』 ◇ 生徒は、含有量の高い慶長小判(86.3%)を選ぶだろうが、その理由も答えさせる。 『それでは、幕府にとって一番良いのは、どの小判だろう。』 ◇ 生徒は、含有量の低い文政小判(56.1%)を選ぶだろうが、その理由も答えさせる。			
課題2(ジャンプの課題) 『なぜ、これほど金の含有量を変えるのだろうか。高くするときと、低くするとき は、どんな時か考える。』 ◇元禄小判(56.4%)から、正徳小判(85.7%)に変化したときは、物価上昇を解消するために元に戻した。			
まとめ 天保の改革以前の時代背景(異国船打払令、大塩の乱)について触れ、幕藩体制が揺れ出していることに気づかせ、天保の改革の内容についてまとめる。			
☆「学び合い」をどこでどう生かしていくか 生徒にとって、幕府の改革がなぜ行われるのかが、うまく理解されないと思われる。そこで、小判の金含有量の変化を通じて、幕府の財政難の現状に気づき、その立て直しのために、種々の改革が行われたことに気づかせたい。			